

大相撲、34歳 嘉風に見る生きる力(人間力)

関取で34歳、日体大出身の嘉風は連日、土俵を沸かせている人気力士の一人です。

176cm、体重145キロと小柄、しかも高齢な嘉風が毎場所、20代前半の新鋭力士のようにパワフル、全力で動き回っています。その活躍を見ているとどこからあのパワーあふれる力がでてくるのか？・・・と考えてしまいます。

嘉風関には夢や目標があり、それらの向かって日々、努力をし、幸せ感を持って生活しているように見受けられます。

いい相撲を取りたい！

三役に定着し、できれば大関を狙いたい目標があるのでは・・・目標があると、人間誰でも精神力(根性)が強くなり、自分なりの色々な努力を積み重ねるものです。

横綱に勝った勝利インタビューなどでも気負ったところはなく、こうして楽しく相撲がとれることに感謝している・・・と言っています。

2017年7月7日、名古屋市内で開かれた日体大出身力士の激励会に出席。激励会の最中、九州豪雨による大きな被害を気に掛けた。地元の人とは連絡を取り合っており、幸いにも大きな被害はなかった。不安を抱える人がいる状況に「悪いニュースは気になるし心配。不安が和らぐような相撲を取りたい」と決意を口にした。日体大出身力士の名古屋での激励会は2017年で2回目。雷親方(元小結・垣添)から序ノ口力士までこの日は7人が参加。力士を代表してあいさつした嘉風が「いい相撲と取って今場所を盛り上げたい」とあいさつすると会場は大きな拍手に包まれた。迎えた名古屋場所初日では横綱日馬富士を破って殊勲インタビューに呼ばれ、ここでも故郷と被災地の窮状に思いを寄せるコメントを残した。



嘉風 雅継(よしかぜ まさつぐ、1982年3月19日 -)は、大分県佐伯市出身の尾車部屋所属の現役大相撲力士。大分県立中津工業高等学校から日本体育大学体育学部武道学科卒業。本名は大西雅継(おおにし まさつぐ)、愛称は本名の「マサツグ」。身長176cm、体重145kg、血液型はB型。星座は魚座、干支は戌年、趣味はイカ釣り、睡眠、パソコン、ボウリング、相撲の話。得意技は突き・押し。尊敬する力士は千代大海。最高位は東関脇(2016年3月場所)。FacebookとTwitter、Instagramを利用している。また、2015年11月4日付けでブログを始めた。

2017年のインタビューで自らのトレーニングについて、次のように語っている。ある時嘉風は妻から「対戦した時には勝っている力士が三役に昇進しているのに、なぜあなたは三役になれないの?」と言われ、それまで幕内に在位してそれなりの生活ができればよいという考えであったが、妻を喜ばせたい、自分自身を変えたいという気持ちから嘉風は三役を狙うようになった。パーソナルトレーナーの野村昇平と契約し、部屋での稽古後にジムへ通う日々が始まった。トレーニングを積んだことによって20代後半の頃の本人いわく「ダサイ」体が変わっていき、筋肉に張りが生まれた。朝やトレーニング後、就寝前のプロテインも導入。プロテインに関しては「この世界には『プロテインなんか必要ない。体は味噌汁で大きくするもんだ』という人もいます。その考え方や伝統を否定する気はありません。味噌汁で体を大きくして、しっかりと結果を残した力士もたくさんいるはずですから。でも、僕は150kgの脂肪よりも、120kgの筋肉の方が強いと考える。だから、若い衆にもプロテインを勧めています」と話した。ほか、寝具を良質な物に替え、これによって朝目覚めた時の腰や首の痛みがなくなり、睡眠が深くなったことにより2時間から3時間の昼寝でも疲労が取れるようになったという。

2016年1月場所は新関脇に昇進(西関脇)。大分県からの新関脇は1957年1月場所の玉乃海、1998年7月場所の千代大海以来戦後3人目。新入幕から59場所掛かっての新関脇は兄弟子の豪風(68場所)に次ぐ史上2位のスロー記録であり、33歳9カ月は戦後6位の高齢昇進となった。この昇進を受けた会見で、師匠の尾車は「私は早く現役を辞めたが、弟子はじっくり育った。両方味わえて幸せ」と満足そうに語っていた。この場所は、横綱から星は挙げられなかったが2大関(豪栄道・稀勢の里)を破り、千秋楽に対戦成績5勝12敗と分の悪い栃ノ心を寄り切って勝ち越しを決めた。